

さわやかな秋空もと、昨日の運動会は、全校児童 153 名が揃って、始めることができた。競技や演技はもちろんのことであるが、運営する子どもたちと職員にも感謝。予定時刻ほぼぴったりに終わることができた▼スムーズな進行を支えたのが、5.6 年生と職員。準備かたづけは、テキパキ。放送は絶妙なタイミングで曲とコメントを流し、招集誘導が間髪入れずに、入退場を先導する。彼らは、それぞれの場面で「自己判断」をしている▼指示を待たずに「始動」しているため、迷いがない。自信があるから「躊躇」しない。ここまで子どもを育て、鍛え、当日導いたのは、教師である。手前味噌で申し訳ない。素敵な教師集団である▼運動会のためだけではない、「日々是日常」これまで積み上げてきたものがあり、それを運動会で発揮するのだ。運動会は発表会ではない。目的があり、プロセスがあり、節目としての成果がある。「公開」することで、子どもたちは日常以上に高い意欲と能力を発揮する▼見に来ていただくことによって、子どもの事実の証人となっていた。参観ありがとうございました▼運動会は、「学校の価値」が最大化される場面の一つである。6 年生に手紙をもらった。その一文に「1 年生の運動会を見て、5 年前のわたしたちを思い出しました」と書かれてあった。この思いにいたったプロセスと背景にも「学校の価値」がある。